こんじん通信 №86

(財)札幌市学校給食会だより

編集/ 財札幌市学校給食会 札幌市中央区北2条西2丁目 STV北2条ビル6F ☎011-211-3897 FAX011-211-3898 ホームページ http://www.sapporo-gk.or.jp/



地産地消(ちさんちしょう)

自分の住む地域でとれたものを食べることを「地産地消」(ちさん ちしょう)といいます。

とれたてのおいしいものが食べられ、作ったりとったりした人がわ かり、安心して食べることができます。

食べ物を運ぶきょりも短くなって、地球かんきょうにもやさしいなどの 良い点がたくさんあります。(文部科学省 食生活学習教材より)

札幌市では地産地消の取組を進めています。

学校給食においても、食に関する指導を充実させるため、 「地産地消により生産・流通・消費の理解を深める」ことが求 められています。

このため当給食会では、『産地指定青果物』として札幌産 の玉ねぎ、こまつな、レタス、とうもろこし、ブロッコリーや札幌 近郊市町村産のかぼちゃ、はくさいなどの供給や、北海道内 の各産地からの「クリーン青果物」等の供給に努めています。

札幌産の野菜だよ!



玉ねぎ(さつおう)



さっぽろ学校給食





(写真:共同購入委員会による視察)



さっぽろ学校給食 フードリサイクル レタス



とうもろこし



ブロッコリー(平成25年度新規)





札幌のすぐ近くでとれています!







かぼちゃ 当別産

はくさい 新篠津産 江別産



地産地消の基本理念に基づき、札幌市内の生産者が、消費者 の意見を取り入れながら、「新鮮・安心・良質」を目指して農薬や化 学肥料に関する独自の生産基準を定め、札幌市農業振興協議会 が認証した農畜産物とその加工品です。このブランドを「さっぽろとれ たてっこ」という愛称で呼んでいます。



石狩管内の5農協(JAさっぽろ・JA道央・JAいしかり・JA北いし かり・JAしんしのつ)が、生産者と安全・安心の確保に取り組んでい る、さっぽろ圏産の農畜産物ブランドです。石狩管内の5農協は、 「さっぽろハーベストランド」の地産地消活動を通じて、フードマイレー ジ削減や地域の消費者・商工業者との連携に取り組むことで、新し い農村と都市との共生(農都共生)を目指しています。

さっぽろ学校給食フードリサイクル

札幌市では、学校給食を作る過程で発生する調理く ずや残食などの生ごみを堆肥化し、その堆肥を利用して 作物を栽培し、その作物を学校給食の食材に用いて子 どもたちが食するという食物の循環「さっぽろ学校給食 フードリサイクル」に平成18年度から取り組んでいます。 平成25年度も、レタス・玉ねぎを全ての小・中学 校、特別支援学校の学校給食に、とうもろこしは調理

校149校に供給されます。

(札幌市教育委員会HPより)





第36回

「きゅうしょくで学ぼう! 食べる楽しさ 大切さ 校給食

昭和30年代の

札幌駅西コンコースを会 幌市学校給食展」が、JR 場に開催されました。 十月十九日(土)、「札

り開催されたのが始まりです。 活を考える機会となること」を目的に 理解してもらい、子どもの健康と食牛 和五十|年に「市民に学校給食を広く 札幌市学校給食栄養士会の主催によ この学校給食展は、昭

延べ二千人に迫る大盛況でした。 んばかりの人で賑わい、一日の入場者は 十時の開場と同時に、会場からあふれ 第三十六回となる今年の給食展は、

学校給食は、食育推進の 生きた教材

習の時間、特別活動等において活用さ 時間はもとより各教科や総合的な学 な教材(「生きた教材」)として、給食の とにより、健康の増進、体位の向上を図 の心身の健全な発達のため、栄養バラ れています。 導(食育)を効果的に進めるための重要 ることはもちろんのこと、食に関する指 ンスのとれた豊かな食事を提供するこ 学校給食は、成長期にある児童生徒

望ましい食習慣と食に関する実践力を 付けの実践を通して、計画的・継続的 身に付けさせることができます。 な指導を行うことにより、児童生徒に 特に給食の時間では、準備から後片

できるなど高い教育効果も期待されて 統に対する理解と関心を深めることが たりすることを通じ、地域の文化や伝 たり、地域の郷土食や行事食を提供し また、学校給食に地場産物を活用し

実物展示コーナー

食指導の様子などが、写真や実物の展 で学ぼう!食べる楽しさ く紹介されていました。 示、寸劇、ゲームなどのイベントで楽し テーマに、給食の食事内容や使用食材: 今回の「給食展」では、「きゅうしょく 大切さ]を

各コーナーで工夫を凝らして

エティに富んだ献立に目を見張る人も コーナーでは、昔に比べると豪華でバラ など実際の給食メニューが並べられた それぞれの子ども時代を懐かしむよう 少なくありませんでした。 に歴代の食器に見入っていました。ま 「スープカレー」や「ガタタンラーメン」 「実物展示コーナー」では、来場者が

熱心に説明を聞く市民の姿が見られま されるというもの。あちこちの掲示板で て説明を受けた人に野菜がプレゼント 給食の取組が紹介された掲示板を巡り ドリサイクル」や「地産地消」など学校 「野菜ゲットスタンプラリー」は、「フー

活改善の必要性を痛感したという人も く不足していることを知らされ、食生 多かったようです。 は、十分野菜を食べているつもりが、全 「野菜足りていますか?」のコーナーで

も真剣にチャレンジしていました。 し1(ワン)グランプリ」。子どもも大人 箸を上手に使って豆を移動する「は

「野菜足りていますか?」

当給食会

もパネル

を 展 示

共催団体の当給食会も、クリーン青

-日に必要な野菜は?・・

に「食」の大切さを啓発しました。 寸劇。今年も笑いを交えながら、来場者 恒例となっている栄養士会員による



札幌市学校給食 栄養士会 会長



林原 久美先生

イアウト。設立の趣旨や歴史、財団法人 真を中心にパネルを制作し、掲示板にレ 果物の生産地や親子見学会などの写

全でおいしい給食の提供や食指導を行っていきたいです。

なります。今後もたくさんの御指導をいただきながら、安 がいを感じるとともに、「もっと頑張ろう」という気持ちに きる給食時間の学級訪問では、学校栄養職員としてのやり

おかわりしたよ」「全部食べたよ」という声を聞くことがで

子どもたちの楽しそうに食べる姿や「おいしい」「今日は

きたいと考えています。

とに力を入れ、食に関する情報を発信する場も増やしてい で、今後は子どもたちに分かりやすい掲示物を作製するこ 少しずつこのような機会を増やしていきたいと思っていま

短時間で行っています。まだ十分な指導ではありませんが*、* ただきながら、ランチルーム給食の際にクイズなどを入れ

す。また、掲示物を作成する時間がなかなかとれなかったの

としての活動内容などを市民にPR

タンプラリー」、「はし1グランプ リ」、会員による「ミニミニ食指導」 ながら、札幌市の学校給食をご紹 場された皆様に楽しんでいただき 等、どのイベントも大変好評で、来 恒例となりました「野菜ゲットス の来場者で大いに賑わいました。 介することができたととても喜ん 肌寒い一日でしたが、今年も多く 給食の実物展示をはじめ、毎年



- ドリサイクルの説明を受ける来場者



「寸劇 3色レンジャー」 ~「野菜は元気の素」~栄養士さんたちの熱演

難しさも実感しています。

く、天候不順による野菜等の価格の高騰など、価格調整の す。また、毎日の給食業務の中で、作業面の配慮だけではな

子どもたちへの食指導は、先生方に御指導、御助言をい





衛生管理や味付け、作業面についてアドバイスをしていた が作っています。チーフや調理員さんと連携を取りながら、

だき、安全でおいしい給食を提供できるよう努力していま

四月当初に比べると、少しずつではありますが、不安が楽 の皆様に助けていただきながら仕事にも慣れてきました。

しさに変わってきている気もします.

本校は単独調理校で、約九二〇食を七人の調理員さん

という間に過ぎていきました。教職員、調理員、先輩栄養士 最初は不安も多く、仕事を覚えることに必死で、一日があつ 子どもの「おいしい」に支えられて

小学校の栄養職員として働き始めて半年が経ちました。



札幌市立清田緑小学校 学校栄養職員 櫻田 望美さん



示物は「食に関す



かわいらしい掲

る情報」です

当給食会のHPもご覧ください

http://www.sapporo-gk.or.jp/

12

今日も「おいしい」 給食がつくられて





IJ ン野菜産地親子見学会

第14回

会が主催する「クリーン野菜産地親子見学会」 八月九日(金)、富良野市東山において当給食

いとしています。 リーン野菜への理解を深めてもらうことをねら 際にじゃがいも掘りを体験したりすることで、ク 組や生産の喜び・苦労などを直接聞いたり、実農協職員や生産者からクリーン野菜栽培の取 使用されているクリーン野菜の生産地を訪れ、 この見学会は、児童とその保護者が、給食で

七組三十四名の親子が楽しい夏休みの一日を過 うテントを張って準備してくださり、参加した十 が、生産者と農協の方々が、いも掘りができるよ の開催でした。あいにくの雨の中での開催でした (食育への取組)として実施し、今年で十四回目 平成十二年度から当給食会の普及奨励事業

いも、とうもろこんお昼にはじゃが

いただきました。 しを試食させて















新鮮でおいしそうな じゃがいもがゴロゴロ



両事業の様子は当会HPでも 紹介しています。 http://www.sapporo-gk.or.jp/



大きなキャベツを収穫

参加し、楽しい学習会とすることができました。 の開催でした。当日は十九組三十八名の親子が 業(食育への取組)として実施し、今年で三回目 ねらいとしています。

平成二十三年度から当給食会の普及奨励事

生産者の苦労などについて理解を深めることを や、安全・安心な野菜を作るために努力している を体験したり、野菜を使った料理を作って試食 南幌町を訪れ、野菜(ピーマンやキャベツ)の収穫 給食で使用されているクリーン野菜の生産地・ 札幌市の小学生(四~六年生)とその保護者が

したりすることで、食物としての野菜の大切さ

開催しました。

第3回

親

収 穫

·料理体験学習会

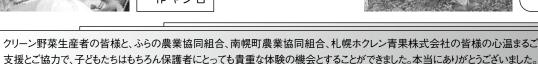
において「第三回親子収穫・料理体験学習会」を

九月二十|日(土)、実りの秋を迎えた南幌町

この事業は、日ごろ学校で給食を食べている



背丈以上に育ったピ



共同購入委員会の活動紹 夼

五〇品目の給食用物資を選定します

る共同購入方式をとっています。 するため、給食実施校の学校長に代わって入札等により品目ごと に単価契約を締結し、すべての学校がその契約単価で購入でき 札幌市学校給食会では、安全で良質な物資を、安定的に供給

及ぶ物資の選定を行っています。 米年二月まで年間七回開催される委員会で、延べ1五〇品目にも 教諭・学校栄養職員から選出された十一人で構成され、六月から 共同購入委員会は、給食実施学校長、教育委員会職員、栄養

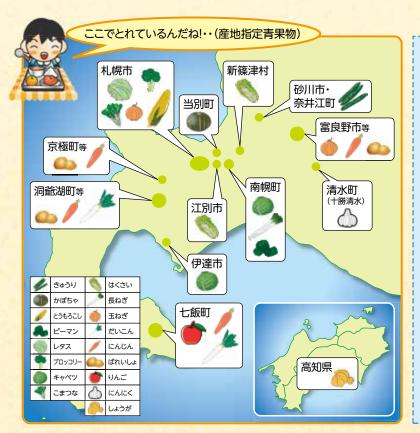
さなどを総合的に判断して行いますが、子どもたちが給食を喜ん による厳しい審査と話し合いが進められます でおいしく食べてくれることを最大の目的として、委員の皆さん 選定は、価格ばかりではなく、品質、食味、食感や使い勝手の良

健やかな成長のために、その役割を果たしていきたい。(抜粋)」と ら委員|人|人の意見を大切にして総合的かつ厳正に選定を行っ 層増してきている。共同購入委員会としましても、児童・生徒の 徒の健康・体力の低下が問題となっており、学校給食の役割が ていきたい。近年食生活の多様化が進み食生活の乱れや児童・牛 組んでいきたい。また、学校給食会の規定をクリアしたものの中か 心(品質や産地・価格)を最優先に考え、責任を持って選定に取り 語っていました。 挨拶の中で、「共同購入委員会では、地産地消を重視し、安全・安 黒井育子委員長(札幌市立本町小学校長)は、委員長就任の





物資選定の様子



産地指定青果物

当給食会の共同購入物資217品目のうち53品目は、ばれいしょ、玉ねぎ、 にんじんなどの青果物です。青果物は、納入業者が札幌市中央卸売市場か ら仕入れていますが、時期により給食会が特定の生産地の農協等との契約 のもとに期間を定めて供給するものがあります。このように産地を指定して供 給する青果物には次のようなものがあります。

①農薬や化学肥料の使用量を抑えた「クリーン青果物」

【当給食会が供給するクリーン青果物の生産地と品目】

- ・富良野市等(玉ねぎ、ばれいしょ、にんじん)
- ・七飯町(にんじん、だいこん、りんご)
- ・洞爺湖町等(ばれいしょ、にんじん、だいこん)
- ・京極町(にんじん、ばれいしょ)
- ・札幌市(こまつな、玉ねぎ、ブロッコリー)
- ・砂川市、奈井江町(きゅうり)
- 伊達市(キャベツ)
- ・南幌町(キャベツ、長ねぎ、ピーマン)
- ・ 高知県(しょうが)
- ②札幌市教育委員会のフードリサイクル事業の一環として栽培されている
- ・札幌産玉ねぎ(さつおう) ・札幌産レタス ・札幌産とうもろこし
- ③地産地消推進のための供給体制づくりが進められている青果物(さっぽろ ハーベストランド等)

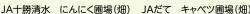
入防

- ・当別産かぼちゃ ・新篠津産はくさい ・十勝清水産にんにく
- ・江別産はくさい



野菜貯蔵施設 「雪蔵」







JAようてい にんじん圃場(畑)

給食会のHPに

詳しい紹介があります。 http://www.sapporo-gk.or.jp/











旬(しゅん)

今は一年中、何でも食べたいものを手に入れることができ るようになりました。しかし、食べ物には、それぞれの地域でよく 育ったり、よくとれる季節があります。それぞれの食べ物がいち ばんよくとれ、おいしく、えいようたっぷりの時期を食べ物の 「旬」(しゅん)といいます。

(文部科学省 食生活学習教材より)

旬の野菜を たくさん食べよう!



栄養価が高い旬の野菜

日本各地から季節の移ろいとともにもたらされる農作物は、まさに「自然の恵み」 です。旬の野菜は値段が安く、味も良く、また栄養価も高いことがわかっています。 例えば、ほうれんそうは品種改良と栽培技術の進歩により、一年中出回るようにな りましたが、夏と冬のほうれんそうでは、栄養成分に差があります。「日本食品標準 成分表(五訂)」によると、夏どりのほうれんそうより、本来旬である冬どりのほうれん そうの方が、ビタミンCは3倍多くなります。

植物は低温になると耐寒のために、養分濃度を高めて凍りにくくする性質があり ます。このため糖やビタミンCの含有量が増加して、よりおいしくなるのです。旬の時 期に収穫し、凍結した冷凍ほうれんそうの方が、夏どりのほうれんそうよりビタミンC は多く含まれています。

出典(参考資料):文部科学省 食生活学習教材(小学校中学年指導者用) 独立行政法人 農畜産業振興機構「野菜ブック 食事のために」

北海道(旬の青果物カレン)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	トムト												
	なす												
	きゅうり												
	かぼちゃ												
0	とうもろこし												
8	ピーマン												
	すいか												
•	めろん												
*	いちご												
-	さやいんげん												
1	さやえんどう												
¥	えだまめ												
9	レタス												
1	セロリ												
111	アスパラガス												
•	ブロッコリー	Ċ											

(帯色の濃淡で旬の時期を示しています)

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	キャベツ												
*	春菊												
4	こまつな												
	はくさい												
*	にら												
***	ほうれんそう												
	長ねぎ												
0	玉ねぎ												
*	だいこん												
	にんじん												
1	ごぼう						7						
Ja.	かぶ												
6	ばれいしょ												
							-0-						

- *産地、天候によってずれることがあります。
- *帯の色が薄くなっている時期は出荷量が少なく、出回っていない場合があります。

出典(参考資料):「北海道やさいbook」 ホクレン農業協同組合